

2022（令和4）年度

京都大学大学院教育学研究科
修士課程
（教育実践指導者養成プログラム）
入学試験問題

※出願者のなかったコース（分野）に対応する専門科目は、筆記試験が実施されなかったため掲載していません。

京都大学大学院教育学研究科
(教育実践指導者養成プログラム)

入学試験問題

外国語

英語

注意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
3. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英語

I. 次の文章の下線部をすべて和訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Cacioppo, J.T., & Patrick, W. (2008). *Loneliness: Human nature and the need for social connection*. W.W. Norton & Company. の4頁35行目～5頁26行目を引用した。

なお、下線部は、5頁4行目の「When people」から始まり5頁17行目「known as loneliness.」までの文を指す。

II. 次の文章の下線部(1)～(3)をすべて和訳しなさい。(1)については、二重下線部 its 内容を具体的に訳に含めること。なお、それぞれ解答の最初に(1)～(3)の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Conrad, S. (2016). *What is Global History?* Princeton University Press. の57頁7行目～59頁7行目を引用した。

なお、下線部(1)は、57頁12行目の「It is all」から「a globalizing world.」までの2つの文を、下線部(2)は、57頁26行目の「The version of」から始まる1つの文を、下線部(3)は、58頁32行目の「Even the breakdown」から「reference point for others.」までの2つの文を指す。

また、二重下線部は、57頁13行目の「it」を指す。

(次頁へ続く)

【問題文】

(問題文略—問題用紙2頁目の後掲<注意>を参照のこと)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

①教育哲学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

②教育史学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

①教育哲学

次の2つの問題について解答しなさい。

- I. 人間の生と世界についての究極的な意味や価値が失われたと言われるニヒリズムのポストモダン社会において、教育の目的はどのように考えるべきであるか論じなさい。（50点）
- II. 地域に根差しながら、地域や国家に閉ざされない世界市民的教育について、その意義と課題を論じなさい。（50点）

②教育史学

問題I

資料1は、とある学校の設立にあたっての趣意書と規則である。これらを読み、以下の問いに答えなさい。なお設問の都合上、文章を改変した箇所がある。（60点）

- (1) 空欄A・Bに当てはまる語を記しなさい。ただし同じ記号の箇所にはすべて同じ語句が入るものとする。（10点）
- (2) 傍線部①～③を現代語に訳しなさい。その際、二重線部分がどのような意味合いで使われているかを明確にすること。（15点）
- (3) 「蘭学」と「洋学」との関係は、どのように理解されているかを説明しなさい。（10点）
- (4) 学校設立の必要はどのように説明されているか、また、学校設立と「国家」との関係はどのように考えられているか、「公」「私」の語を用いながら解説しなさい。（10点）
- (5) 学校の「規律」はどのようなものとして構想されているかを考え、自らの見解を記しなさい。（15点）

問題II

次の①～⑩の事項の中から4つを選び、それぞれについて説明しなさい。なお解答にあたって、選択した項目の番号を必ず最初に記すこと。（40点）

- ①寺子屋起源論争 ②国民学校令 ③四大教育指令 ④修学旅行
⑤不敬事件 ⑥八条目 ⑦朝鮮教育令 ⑧文字社会 ⑨成城小学校
⑩勤勉革命

【資料1】

(資料略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

資料は、松本三之介・山室信一編『学問と知識人』(岩波書店、一九八八年)20頁2行目～22頁2行目及び22頁上段1行目～下段15行目を引用した。

なお、空欄Aは、20頁1行目「立テ」と「ヲ創シテ」の間の語、21頁16行目「板二」と「ト名タ。」の間の語、及び22頁上段2行目「務テ」と「ノ学問ヲ」の間の語を指す。空欄Bは、20頁9行目「蘭化翁」と「二往キテ」の間の語、及び21頁1行目「唯西睡ノ」と「ノミナレバ。」の間の語を指す。

また、傍線部①は、21頁10行目の「抑モ洋学ノ」から「可ナランカ。」までの1つの文であり、二重線は、21頁10行目の「物理」を指す。傍線部②は、21頁19行目の「且又後來」から「功ヲ奏セヨ。」までの2つの文であり、二重線は、21頁19行目の「会社」を指す。傍線部③は、22頁上段15行目の「外人へ応接」から「遠慮スベキ事。」までの2つの文であり、二重線は、22頁15行目の「外人」を指す。

長紙は落し

(2)

【資料1】

(資料略—問題用紙2頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(3)

2022年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

③教育方法学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして書きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

2022年度

③教育方法学

次の3問に解答しなさい。

- I. 「個別最適な学び」を追求することの意義と課題について論じなさい(30点)。
- II. 教師の学びや成長における「省察(reflection)」の意味について論じなさい(30点)。
- III. 次の用語について説明しなさい(40点)。
 - (1) STEAM教育
 - (2) 高大接続
 - (3) メディア・リテラシー
 - (4) カリキュラム評価

(1)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

④発達科学

注意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

④発達科学

I. 次の用語について説明しなさい（60点）。

- (1) 性淘汰 (sexual selection)
- (2) 自律神経系 (autonomic nervous system)
- (3) 共同注意 (joint attention)
- (4) 語彙爆発 (vocabulary spurt)
- (5) 実行機能 (executive function)
- (6) 相関係数 (correlation coefficient)

II. ヒトがもつ他者の心的状態を理解する能力の発達とその生物学的基盤に関する研究を行うとする。以下の問いに答えなさい（40点）。

- (1) この研究を行うにあたり、自分が関心をもつテーマについて説明し、そこで想定される仮説とそれが導き出された根拠を述べなさい。
- (2) (1)で挙げた仮説を検証するための研究計画を具体的に記述しなさい。

(1)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑤教育人間学・臨床教育学

注意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑤教育人間学・臨床教育学

次の2問に解答しなさい（解答は日本語、英語いずれも可とする）。
(それぞれ50点)

I. 「[教育は] 自然の研究としての科学を人間の諸々の関心事の記録としての文献から引き離すことを目指すべきではなく、自然科学と、歴史学、文学、経済学、政治学というような様々な人間の学問分野とを交配することを目指すべきである」（ジョン・デューイ『民主主義と教育』（1916））。

上記のデューイの言葉を解釈しながら現代に求められる大学教育のあり方について論じなさい。

II. 教育において「他者と出会うこと」はいかなる意味を持つか。教育人間学、あるいは臨床教育学の立場から論じなさい。

【問題1】

出典：John Dewey, *Democracy and Education* (1916), in *The Middle Works of John Dewey*, Vol. 9, Jo Ann Boydston (ed) (Carbondale: Southern Illinois University 1980): pp. 294-295.

翻訳参考：ジョン・デューイ『民主主義と教育』（下）（松野安男訳）（岩波書店 1975）、p. 140

※問題文は、出題者によって上記の出典を日本語訳したものを出題した。

(1)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑥教育認知心理学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

3つの問題（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）のすべてに解答すること。特に指示がある場合を除いて、日本語または英語のいずれの言語によって解答してもよい。

Ⅰ. 心理学において、対立する、もしくは異なる軸からとらえることのできる概念のペアを1つ取り上げて、以下の問いに答えなさい。（各10点、計40点）

例（心と身体、脳と末梢、認知と感情、意識と非意識、自己と他者など）

- (1) 取り上げた概念のペアについて説明し、これまでの研究でどのようなことが明らかになったのかを述べよ。
- (2) (1)について、そのうち一つの研究を取り上げて、その研究の「目的」と「方法」を詳細に記しなさい。
- (3) その研究の「結果」を用いられた統計手法も含めて報告し、「考察」および「結論」を述べなさい。
- (4) 取り上げた概念のペアに着眼して研究することの意義を、心理学以外の近接分野との関連、あるいは応用可能性のいずれかの視点から考察しなさい。

(1)

Ⅱ. 次ページ以降の英文を読んで、次の問題に答えなさい。（各10点、計30点）

- (1) 「セルフ・コントロールは有限の資源（リソース）を想定することで説明される」という考え方はどのような実験や研究によって支持されているのか、本文中に述べられていることに基づいて説明せよ。
- (2) セルフ・コントロールを有限かつ再生可能な資源とするだけでは、セルフ・コントロールについて十分には理解できないだろうと著者らが考えているのはなぜか、本文中に述べられていることに基づいて説明せよ。
- (3) 下線部の「theoretical soup stones」とはどのようなことか、本文全体を参照して説明せよ。

(2)

【問題文】

（問題文略—後掲<注意>を参照のこと）

<注意>

問題文は、Inzlicht, M., Schmeichel, B. J., Macrae, C. N. (2014). Why self-control seems (but not be) limited, *Trends in Cognitive Sciences*, 18(3), 127頁～133頁のうち、127頁19行目「Self-control refers」から始まり128行目76行目「the apparent limits of self-control」を引用した。

なお、下線部の「theoretical soup stones」は、127頁30行目を指す。

(次のページへ続く)

(3)

【問題文】

(問題文略—問題用紙3頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(次のページへ続く)

(4)

【問題文】

(問題文略—問題用紙3頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(5)

III. 心理学で用いられる次の用語について、その意味を簡潔に説明しなさい。(各3点、計30点)

- (1) analogy
- (2) arousal
- (3) attachment
- (4) autonomic nervous system
- (5) カウンターバランス
- (6) causal attribution
- (7) embodied cognition
- (8) 灰白質
- (9) social power
- (10) 剰余変数

(6)

2022年度

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑦臨床心理学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑦臨床心理学

3つの問題（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）のすべてに解答すること。

Ⅰ. 以下の文章は、災害のケアに立ち会った専門家が、被災者の心情について語ったものです。この文章を読んで、以下の二つの問いに答えなさい。（30点：各15点）

【問題文】

（問題文略—後掲<注意>を参照のこと）

<注意>

問題文は、岡山慶子、中村清吾、森さち子編著「患者の心をだれがみるのか」岩崎学術出版社、2018年、43頁10行目～44頁1行目を引用した。

（1）この専門家が言おうとしていることをあなたなりに理解し、かみ砕いて説明しなさい。その上で、この意見に対し、「心のケア」とは何かという観点から、あなたの意見を述べなさい。

(1)

（2）もしあなたがセラピストとして、実際に、被災した人から同様の言葉を投げかけられたとしたら、あなたは、それをどのように受けとめ、どのように対応しますか。また、その際にどんなことが重要と考えますか。具体的に論述しなさい。

(2)

Ⅱ. 「無意識」に着目することの意義について、次の三つの観点から論じなさい。

（30点：各10点）

- （1）心理アセスメント
- （2）心理療法
- （3）研究

(3)

Ⅲ. 次の用語・人名について説明しなさい。なお、それぞれの解答の最初に、（1）から（10）の番号を記入すること。

（40点：各4点）

- （1）Minuchin, S.
- （2）原光景
- （3）Kinetic Family Drawings
- （4）ロールシャッハ法における Sequence analysis
- （5）active imagination
- （6）内向的思考タイプ
- （7）Constellation
- （8）複雑性心的外傷後ストレス症 (complex post-traumatic stress disorder)
- （9）自閉症広域表現型 (broader autism phenotype)
- （10）阿蘭世コンプレックス

(4)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑧教育社会学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑧教育社会学

以下の4問(I、II、III、IV)から2問(※ I、IIという組み合わせか、III、IVという組み合わせか、どちらかの組み合わせにすること)を選択し、答えなさい。なお、選択した問題番号を解答欄に記すこと。

I. 「居場所」というテーマを社会学的観点から研究する場合、どのように研究を行っていくか、具体的に述べなさい。その際、(1)関連する先行研究、(2)仮説、(3)研究方法、(4)研究計画、(5)予想される研究成果等についてなるべく詳しく具体的に記すこと。(60点)

II. 次にあげる用語および人物から5つを選び、それぞれ説明しなさい。なお、選択した用語および人物については、それぞれ番号を記すこと。(40点)

- ① 責任倫理(M. ウェーバー)
- ② ゲノセンシャフト
- ③ E. ゲルナー
- ④ パラダイム(T. クーン)
- ⑤ 橋川文三
- ⑥ アジュール

(1)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑨図書館情報学

注 意

III. 次にあげる2つのテーマのうち、1つのテーマを社会学的観点から研究する場合、どのように研究を行っていくか、具体的に述べなさい。その際、(1)関連する先行研究、(2)仮説、(3)研究方法、(4)研究計画、(5)予想される研究成果等について、なるべく詳しく具体的に記すこと。なお、選択したテーマについて、番号を記すこと。(60点)

- ① 学校と少年非行との関係
- ② 教育から職業へのトランジション

IV. 次にあげる用語および人物から5つを選び、それぞれ説明しなさい。なお、選択した用語および人物については、それぞれ番号を記すこと。(40点)

- ① メタ分析
- ② 非行サブカルチャー論(A. コーエン)
- ③ 官僚制
- ④ 児童虐待
- ⑤ R. アグニュー
- ⑥ 企業福祉

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

(2)

⑨図書館情報学

I. 2005年に最高裁が公立図書館を「公的な場」と位置付けたことにはどのような意義があるのか、公立図書館に関する思想と実践の両面から論じなさい。(40点)

II. 次の(a)から(d)のうちから3つを選び、その概要や特徴を説明した上で、それが図書館界に及ぼした影響を論じなさい。(各20点、合計60点)

- (a) 『ピノキオ』事件
- (b) 『中小都市における公共図書館の運営』(1963年、日本図書館協会)
- (c) embedded librarians
- (d) Wayne A. Wiegand

(1)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑩メディア文化学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑩メディア文化学

I. 近代オリンピックの歴史を基軸メディア(新聞・映画・ラジオ・テレビ・インターネット)の展開から論じなさい。ただし、第1回アテネ大会・第11回ベルリン大会・第18回東京大会・第32回東京大会とメディアの関係については必ず言及すること。(50点)

II. 以下のラジオ番組表を史料として読み解きなさい。(50点)

- ① この掲載された新聞の日付は何年何月何日か。そう推定した理由を述べなさい。
- ② この番組表と記事から読み取れる日本の放送文化の特質について解説しなさい。

【史料】

(史料略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

史料は、『東京朝日新聞』1926年11月11日 朝刊 最終版(縮刷版)を引用した。

(1)

(2)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

①比較教育学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

①比較教育学

- I. 教員の勤務状況は国によって異なっている。次に挙げる表は一部の国の前期中等教育段階（国公立教育機関、2019年）における1学年度あたりの法定授業時間数と総法定勤務時間数をまとめたものである。表にある国のなかから異なる傾向のある国を2つ以上選び、その違いが生じる要因を比較的に検討する研究計画を作成しなさい。（40点）

【表】

（表略—後掲<注意>を参照のこと）

<注意>

表は、経済協力開発機構（OECD）編著『図表でみる教育 OECD インディケータ（2020年版）』明石書店、2020年より、492頁の表D4.1及び493頁表D4.2から抜粋して掲載している。

(1)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

②教育政策学

注 意

- II. 教科書制度は国や地域によって異なっている。諸外国・地域のなかから1つまたは複数選び、教科書制度の概要をまとめうえで、それが学校教育にどのような特徴をもたらしているかについて論じなさい。（30点）

- III. 次の用語のなかから3つを選んで説明しなさい。（30点）

- ① 機能的識字
- ② 国際教育標準分類（ISCED）
- ③ 万人のための教育世界会議
- ④ アファーマティブ・アクション
- ⑤ レッジョ・エミリア

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

(2)

⑫教育政策学

I. 次頁の資料は「公立学校における働き方改革の推進」に関するものである。これを読んで以下の問いに答えなさい。

- (1) この資料にあげられた政策から1つ選択し、期待される効果とその効果を得るにあたっての課題について論じなさい。(20点)
(2) (1)で示した課題解決に向けた問い(仮説)を立て、実証のための研究計画を作成しなさい。(20点)

出典：文部科学省「公立学校における働き方改革の推進」
(https://www.mext.go.jp/content/20210310-mext_zaimu-100002245_1.pdf)

文部科学省

公立学校における働き方改革の推進

学校における働き方改革は、特別重要な役割を担うため、国・教育委員会・学校それぞれがその立場において、取組を着実に推進し、教師が教師でなければできないことに全力投球できる環境整備が必要

公立学校における働き方改革の推進に関する資料。表紙には「働き方改革の推進」とあり、内容は「働き方改革の推進」に関する取組の概要、具体的な取組内容、効果の期待、課題の抽出、今後の取組の方向性などが記載されている。また、表紙には「働き方改革の推進」に関する取組の概要、具体的な取組内容、効果の期待、課題の抽出、今後の取組の方向性などが記載されている。

II. 教育の自由と教育に対する規制ないしは統制との関係について、1または複数の具体的政策(国内外を問わない)をあげて、その在り方および課題について論じなさい。(30点)

III. 次の用語の中から3つを選んで説明しなさい。(30点)

- ① 教科用図書代替教材
② 出席停止
③ 概算要求
④ 専門職大学
⑤ 社会教育士
⑥ 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(教育機会確保法)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑬文化政策学

注意

- 1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑬文化政策学

I. 次の八つの事項から四つを選び、それぞれについて説明しなさい。
解答にあたっては、選択した事項の番号を必ず最初に記すこと。(32点)

- ① 芸術文化振興基本法
- ② 違式註違条例
- ③ 国際文化振興会
- ④ 内国勲業博覧会
- ⑤ ユネスコ運動
- ⑥ 古社寺保存法
- ⑦ 日本万国博覧会世界民族資料調査収集団
- ⑧ 芸術文化振興基金

II. 今日、国際社会の文化政策を牽引する「文化多様性」の概念について説明し、その積極的な意味合いと、それが内包する矛盾の双方について論じなさい。(28点)

III. 日本の19世紀における「開国」期以降、今日までに実在した人物を一人取り上げ、文化政策の観点から、その人物の事績を説明し、歴史的役割を論評しなさい。

解答用紙の1行目、問題番号の横に、取り上げる人物名を記すこと。文中では必要に応じて他の人物にも言及してよい。

なお、その人物が活躍した時代に「文化政策」という用語が使用されていたかどうかは問わないものとする。(40点)

(1)

京都大学大学院教育学研究科

入学試験問題

専門科目

⑮高等教育学

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験専門科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)

解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。

解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

⑮ 高等教育学

I. 大学・大学院における社会人のリカレント教育について、次の問いに答えなさい(2問とも解答すること)。(55点)

- ① 日本国内の現状とその背景について述べなさい。
- ② リカレント教育の今後の可能性について、(a) ポストコロナにおけるオンライン・ハイブリッド型授業、(b) アウトカムベースの教育、の視点を入れて述べなさい。

II. 次の用語を説明しなさい。(各15点)

- ① 準正課活動
- ② 学習アセスメント
- ③ 大学教育の職業的レリパンス

(1)